

要注意外来生物

アメリカオニアザミの 駆除にご協力を！！

↓アメリカオニアザミの
ロゼット



↑アメリカオニアザミの花

最近、市内各所でアメリカオニアザミという植物が目立っています。

この植物は、繁殖力が強く、その土地に元々あった植物の生育場所を占領する可能性もあります。また、堅く鋭いトゲを持つため、うかつに触ると危険です。

敷地内でアメリカオニアザミを見かけた場合には、大きくなる前に抜き取っていただき、処分していただくようご協力をお願いします。

お問い合わせ

裏面も
ご参照ください

八潮市生活安全部
環境リサイクル課環境保全係
電話：048-996-2111(内線338)

アメリカオニアザミ 駆除のポイント

- ・ トゲが鋭いため、軍手などを着用して引き抜くよりも、草刈り鎌などを使用して刈るか、スコップなどを使用して周辺の土ごと掘り返すことをお勧めします。
- ・ 多年生であるため、駆除を行っても株や根が残っていれば再生するので、その場合は再度駆除をお願いします。
- ・ 花が咲いているときに駆除した場合は、そのまま放置しておくこと、種子が飛散することもあるので、駆除後は、その場に放置せずに処分していただくようお願いいたします。

要注意外来生物とは？

外来生物法の規制対象となる特定外来生物や未判定外来生物とは異なり、外来生物法に基づく飼養等の規制が課されるものではありませんが、これらの外来生物が生態系に悪影響を及ぼしうることから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取扱いについて理解と協力をお願いするものです。

これらの外来生物はその特性から大きく4つのカテゴリーに区分することができ、アメリカオニアザミは、「被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物」に区分されています。

このカテゴリーに区分されている外来生物は、専門家会合等においても生態系等に対する被害のおそれ等が指摘されているが、文献等の被害に関する科学的な知見が不足しているものです。引き続き情報の集積に努め、その状況を踏まえて特定外来生物等の指定の必要性について引き続き検討するとともに、利用に当たっての注意を呼びかけていく必要があるとされています。